

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)精華交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)精華交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4度実績)÷(R3度実績) 大ホール:56.9%(平均値比118%=56.9%÷48.4%) 研修室:58.7%(平均値比128%=58.7%÷45.7%) 会議室:42.4%(平均値比109%=42.4%÷39.0%) 和室(東):30.1%(平均値比119%=30.1%÷25.2%) 和室(西):29.0%(平均値比119%=29.0%÷24.3%) 多目的実習室:37.5%(平均値比108%=37.5%÷34.7%) ※児童センター該当なし	5点				
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4度実績)÷(R3度実績) 【公民館】 大ホール:19,131人(平均値比135%=19,131人÷14,188人) 研修室:11,629人(平均値比154%=11,629人÷7,555人) 会議室:4,127人(平均値比140%=4,127人÷2,940人) 和室(東):2,520人(平均値比125%=2,520人÷2,013人) 和室(西):2,290人(平均値比117%=2,290人÷1,956人) 多目的実習室:4,392人(平均値比130%=4,392人÷3,391人) 遊戯室:1,100人(平均値比108%=1,100人÷1,015人) 図書貸出:1,944人(平均値比115%=1,944÷1,684人) 【児童館】15,784人(平均値比126%=15,784人÷12,499人) 公民館:5点 児童館:5点 総合点:5点 ※点数の比率は[公民館1:児童館1]	5点				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P105～106 【公民館】 ①精華校区まちづくり市民会議連携事業(11回1,694人) ②ラジオ体操だよ!全員集合(19回1,056人) ③筋力アップ体操(11回95人) ④活性化委員事業(80人) 【児童館】 ①乳幼児と保護者を対象とした事業(36回1,162人) ②児童を対象とした事業(101回868人) ③地域交流・多世代間交流(35回3,608人) ④中高生事業(54回258人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(32回279人)	仕様書以上 13点	【公民館】 ①交流センターを拠点とした多世代交流事業への多数の参加がみられ、地域の住民同士の顔が見え、災害時の共助にもつながる取組みとなっている。 ②交流センターまつりを2年ぶりに開催し、特に「ステージの部」では30団体が出演。コロナ禍を経て、文化活動を通じた人と人のつながりなど土台の再生に寄与した。 【児童館】 ①新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて事業を行い、「乳幼児クラブ」、「小学生クラブ」等は交流センターの利点を生かし広い会場で実施した。 ②乳幼児クラブは全てのクラブで定員数を越え、参加者数は2年間で1.4倍の年間119組になり、小学生「一輪車クラブ」も定員数を越え、ニーズに合った事業展開となった。 ③ボランティアクラブ「せいかいバルバル」(小学生)・「ばーくサポーター」(中学生)は、子ども達が自主的に事業のサポートを進めることができ、達成感が自己肯定感につながった。 ④こどもSDGsでは、こども用品に特化した譲渡会を実施した。ベビーベッドから洋服まで、引き取ったものを来年持ち込みたいと好評だった。 公民館:13点 児童館:13点(13.40点) 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P106～121 【公民館】 ①おはようサロン(10回167人) ②自力整体で自然治癒力UP!(15回144人) ③折り紙サロン(12回54人) ④さわやか体操♪(15回106人) ⑤冬を彩る寄せ植え教室(23人) ⑥おうちパン(3回24人) ⑦市民のための健康講座(23人) ⑧コグニサイズで健康長寿(8回40人) ⑦精華ギャラリー(14回700人) ⑧VIVA! マナビバ!(47回155人) 【児童館】 ①乳幼児と保護者を対象とした事業(43回557人) ②児童を対象とした事業(35回103人) ③地域交流・多世代間交流(30回2,907人) ④中高生事業(36回67人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(12回0人)	期待以上 13点	【公民館】 ①健康意識の高まりを受けて実施している既存の事業に加えて、認知症予防講座を新規で実施。体力を問わず参加でき、高齢化への不安を軽減する事業として取り組まれた。 ②パン作り講座「おうちパン」を新規で実施。コロナ禍で利用が少なかった多目的実習室の利用促進やPRに努めている。 ③新規事業「おとなSDGs」ではリサイクル本の譲渡会を実施。時代に合った視点や利用者のニーズに応える。 【児童館】 ①小学生夏休み講座「ドンコリキチキドラムセットを作ろう」や「砂防ジュニアマイスター養成講座」等、交流センターである利点を活かし、新型コロナウイルス感染症対策のため広い会場で事業を実施し、日常的に来館できない子どもたちに児童館を周知することができた。 ②「おかあさんといっしょにあそぼう」「キッズピクスでからだをうごかそう」等、乳幼児と保護者向けの事業展開をすることで児童館利用者の年齢層は幼児と保護者が7割を占め、多世代の交流を促進できるようになった。 公民館:13点 児童館:13点(13.00点) 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点				
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P122 ①施設内清掃(毎日) ②特別清掃(年2回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点				
			②保守・点検			年次報告書P122 ①事業計画にある法定点検ほか必要な保守点検を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			③保安・警備			年次報告書P122 ①開館時間の巡回警備、機械警備を実施 ②年間を通して安全な状態を維持。監視カメラの設置により警備体制を強化	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			④小規模修繕			年次報告書P123 ①有償修理 全16件 総額 742,735円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P123 ①開館前と夕方の1日に2回以上、施設周辺(屋根、壁、駐車場、フェンス、植木等)及び各部屋(床、壁、机、椅子、備品等)の安全確認を実施。 ②安全性確保のためのチェックシートを活用し、異常の早期発見に努めている。 ③雨天時に玄関付近の床タイルが滑りやすくなるため注意喚起の看板を設置。 ④隣接する上野公園の安全確認を毎日行い、異常箇所があれば速やかに市へ報告。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実 施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点	年次報告書P124 ①市ファイリングシステムに準じて、文書を適正に保存、保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P124 ①近隣住民の要望による施設周辺の植木の剪定、草取り、溝掃除を毎月実施。 ②図書室・玄関・ロビー・大ホール廊下の照明をLED電球に交換。省エネに努めた。 ③全館清掃によりエアコンのフィルター掃除を年間2回実施。電気代節約につなげた。 ④試し印刷には使用済用紙を使用。消毒用布巾は洗濯・除菌して使用するなどごみの減量 に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P124 ①正面玄関に車いすを配置。常に安心して利用いただけるよう定期点検を実施。 ②車の乗降に介助が必要な場合は、職員が対応し安全に入退館いただけるよう努めた。また 乗降後に運転手が駐車場へ車を回している間、介助者の補助を職員が支援。 ③各部屋前の靴の履き替え場所に椅子を設置。安全に履き替えができるよう配慮。 ④和室に座卓用椅子を設置。正座等が難しい方にも利用しやすい環境を整えた。 ⑤車椅子で遊戯室へ来館する子ども用の車椅子を、遊戯室内に置けるようシートを常備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P124 ①消毒セットの貸出し、次亜塩素酸水の給水器による備品の消毒、清掃を実施。 ②備品収納案内を各部屋の備品に貼付け、備品配置図の掲示により利便性を高めた。 ③多目的実習室の調理道具入れや食器棚に「写真入り収納ラベル」を取付け、備品管理簿を 作成し管理。 ④利用団体の備品は、写真つきの「預かり備品台帳」を作成、管理。 ⑤誰にでもわかりやすい表示で、利便性やスムーズな片付けの環境整備を図った。 ⑥日常点検に加え貸出備品は返却後に必ず点検。不備には速やかに対応。 ⑦図書の本は地域の図書ボランティアが毎月点検。修理等にも速やかに対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P124 ①個人情報に記載された資料とデータは、鍵のかかるキャビネットで保管。 ②講座申込時にメディアの撮影・取材の可否を確認。 ③不特定多数が共有する図書カードは、氏名ではなく番号のみ記載。 ④児童館入退館受付簿は、先に記入した個人情報が見えないよう工夫。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点 事故等対応に不備あり:△1点	年次報告書P125 ①全ての事故に対して適切かつ迅速な初動対応を行い、市への速やかな一次報告、再発防 止策を含む詳細報告を行った。 ②重大な事故はありませんでした。	事故なし・対応に不 備なし 0点	事故なし。	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未 満～100%:4点、100%未満:3点	収入32,821,119円÷支出33,677,558円＝97%	100%未満 3点	【参考】令和元年度106%、2年度93.4%、3年度96%	3点	
4	より良い施設 運営のための 取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の 反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反 映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P126 ①広報誌「やまびこ」を、2色刷りからカラー印刷にリニューアル。 ②講座の中止や日程変更等の連絡にビジネスラインツールを導入。 ③コロナ禍で利用が見込めなかった一方、利用者の利便性向上に向け備品整備や利用方法 などを見直し。 ④猛暑日に快適に利用していただくため、エアコンを利用10分前から稼働。次の利用が続く 場合は稼働を継続し、室温を保ち節電につなげた。	期待以上 9点	①広報誌のカラー化は見やすいだけでなく、利用者の目を引き利用の促進につながるための取組 み。また自前の印刷から外注とし、事務の効率化を実現。 ②ラインツールの導入により、日程変更等の連絡がスムーズかつ確実になるなど、利用者の利便性 の向上に寄与。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告書P126 ①駐車場が満車になり遠くの駐車場に停めると時間通りにサークル活動をはじめることがで きないという利用者に対し、事前に駐車場を案内し、サークル内での共有を依頼。	苦情なし・期待以上 5点	①駐車場が少ないなど、施設の構造上の課題はすぐに改善することは難しいが、施設としてできる限 りの対策に努めている。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上 記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15 点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P104・127・128 ①交流センターとしての役割を活かすため、多世代交流を進めるとともに、地域に根差した事 業、利用者のニーズに対応した事業を展開。 ②地域の文化活動の拠点となりうる、職員全員で意見を交わし、最大限の「利用しやすさ」を 追求。交流センター化後の平均利用率も32.2%から42.5%と上昇、日常的に賑わいを回復。 ③児童館利用者の年齢層は、幼児と保護者が7割。児童館機能を活かした多世代の交流を 促進。 ④利用者が気軽に声をかけやすく、利用しやすい体制で「即時対応」できるよう、窓口には常 時職員を配置。職員から声掛けするよう心がけ、利用者・地域・職員が寄り添い合える環境を 整備。	期待以上 13点	①交流センターとして、児童館利用者と公民館利用者の多世代の交流とともに、精華地域に根差した 事業により利用者のニーズに対応した事業展開に努めている。 ②市街地の中の施設であり利用団体も多く、利用状況が回復して活気が戻っている。体制を整えて、 安全、安心な利用に向けた取組みがなされている。 ③児童館では幼児と保護者の割合が高いことから、若い保護者へ寄り添う姿勢がうかがえる。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・ 不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中 程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減 点なし	不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内 容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が 期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△ 2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等 が期待どおり 減点 なし	指示等なし	0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ①市街地、住宅街に立地しているため、各種事業を実施する上で近隣や地域への配慮が必要であり、丁寧な対応に努めている。 ②交流センターとして、公民館と児童館の枠を越えた多彩な事業や、市民会議などセンターを拠点と する団体との連携が充実している。 ③交流センター化以降、利用率が年々向上しているため、より安心、安全な環境づくりに努められたい。		極めて良好